



ややま

社会福祉法人ややま福祉会
〒871-0153
大分県中津市大貞312-1
TEL: 0979-24-1637
FAX: 0979-24-1640
令和5年5月29日発行

新利用者歓迎会



4月20日(木) 本園と如水のそれぞれで新利用者歓迎会を開催しました。本園では昨年の12月からメンテナンス事業部に新しく関わった河北玄如さんを皆で盛大に歓迎しました。如水では昨年の6月に中野里美さん、昨年の8月に奥城伸二郎さんが新利用者となったことに加えて、今年の3月に中津支援学校を卒業した後田恭輔さん、原田綾華さん、廣津菜萌さんが加わり、新利用者5名を皆で歓迎しました。コロナ禍の現状、大規模な開催は難しいという結論に至り、本園と如水で別々での開催となりましたが、それぞれ趣向を凝らして新利用者を含めた利用者全員で楽しむことができ、久しぶりの行事を満喫することができました。

本園では河北さんが選挙演説のパフォーマンスで自己紹介をしてくれました。「職員を探せ!!」のコーナーでは、段ボールに隠れている職員を日頃の声や仕草を頼りにみんなで当てるゲームで、間違えて悔しがったり、正解してみんなで喜んだりとても盛り上がりました。

如水では新利用者5名に関する○×クイズを行い、好きな食べもの・嫌いな食べ物など、クイズを通して新利用者を深く知ることができました。その他にも、ボディーパーカッションを踊り、これまでの行事の写真をスライドショーで見ました。

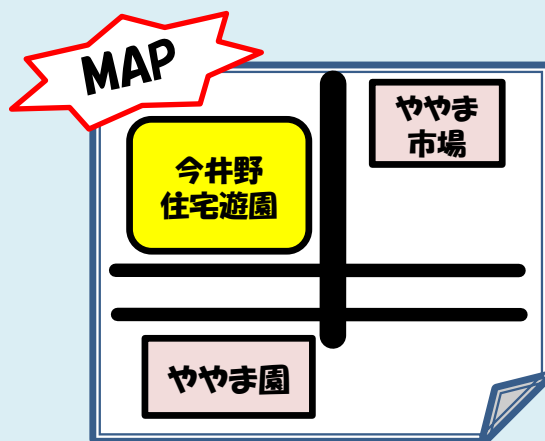
歓迎会を通してよりいっそう親睦を深めることができました。これからもややま園の皆で協力し合って頑張っていきましょう。



地域の方々とふれあえる憩いの場として

3月17日(金) 市営今井野住宅の児童遊園に花壇やすべり台などの公園施設の寄附受納式が行われました。以前より ややま園が草刈りなどの環境美化活動で携わっていた公園ですが、もっと地域の皆様(高齢者・子供達・障がい児者)が集える場所にできないかとの思いから中津市と協議を重ねた結果、花壇や公園施設の寄附を行い、併せて中津市とややま福祉会との間で、中津市公共施設アダプトプログラム(里親制度)の協定を交わしました。この協定は今後も引き続き、公園の環境美化活動を地域の方々と協力して行い、皆様の憩いの場として利用してもらえるように活動する役割があります。地域共生社会に繋がるよう地域との交流を育んでいきます。

※中津市公共施設アダプトプログラムとは、市民や企業・団体などが「公共施設(区域)の里親」になり、引き受けた施設(区域)のお世話(清掃や環境美化活動)を担い、行政はその活動の支援を行うというもの。



大木施設長 挨拶

平成18年に縁あって福祉の世界に入り、主に事務方として勤め、令和3年4月よりややま園如水の副施設長となり、この4月1日よりややま園如水の施設長となりました。 よろしくお願ひします。

平成18年の勤め始めた時に大きな制度改革、障害者自立支援法が施行され、その後も見直しを重ね現在に至っています。 来年4月には3年置きの制度見直しが予定され、就労選択支援事業を新設し就労アセスメントの導入で就労を後押し、グループホームを拡充し高齢化対応と地域生活支援の強化、また児童分野では子育て家族を含めた支援の強化等の見直しが検討されており、施設を取り巻く状況は刻々と変化しています。利用者それぞれの状況も18歳から最高齢は80歳で利用者それぞれにニーズも違いますが、ややま園の3つの基本理念「利用者の意思及び人権を尊重し、常にその立場に立って支援を提供します」「家庭との絆を大切にします」「地域との交流を大切にします」に沿って、それぞれのニーズに寄り添った支援を日々心掛けていきたいと思ひます。

ややま園如水では本年度の事業計画に「褒めるを意識した支援」を掲げ1年間取り組んで行くように計画しています。褒めるを意識した支援はただ漠然と利用者の良いところを褒めると言うのではなく、それぞれの特性に合わせた役割や個別支援計画に沿った支援のなかで褒める機会を作りモチベーションや満足感、責任感を刺激し、それぞれの利用者の長所・短所を伸ばすことを目標に職員みんなで取り組んでいきます。

ようやく新型コロナウイルスも3年が過ぎ、感染対策の為に中止となっていました行事も再開してきています。利用者の皆さんが毎日笑顔で登園し作業やレクレーションに取り組み、ややま園を「利用して良かった」「将来も安心できる」と思ってもらえる施設を目指していきたいと思ひます。

～ややま園如水事業所紹介～

現在、如水で主力となっている乾燥椎茸軸切りの入荷が一時的に減少している状況です。そこで暫定的ですが、一日のスケジュールを調整し、新たな作業スキルの習得に時間を掛けているところです。それぞれのスキルを伸ばし、利用者皆さんの活躍の場が広がるようにしていきたいと思ひます。

また、如水では「土曜日レクレーション」に力を入れています♪皆に楽しんでもらえるように様々なイベントを企画中です！！

そして、この春から新たに3名の利用者が加わりました。より一層明るい雰囲気になり、和気藹々としながら仲良く園生活をおくっています。

新利用者紹介

後田 恭輔さん
中津支援学校卒業
「一生懸命頑張ります！」



原田 綾華さん
中津支援学校卒業
「皆と仲良くお仕事頑張ります！」



廣津 栞萌さん
中津支援学校卒業
「いつも笑顔で頑張ります！」



アクリルタワシ

好評販売中！！

ややま園如水では、女性利用者を中心にアクリルタワシを作っています。売上は工賃として利用者の皆に還元されます。ややま園販売所「ややま市場」、JAおいたオアシス春夏秋冬、耶馬トピアなどで販売しています。近くの販売所へ寄った際は、是非手に取ってご覧ください！



～本園室内B型事業部紹介～

現在、24名の利用者の皆さんが10:00～15:30の時間で作業に取り組んでいます。作業の種目は「野菜加工」「椎茸の軸切り」「盛籠の看板作り」「布製品の箱詰め作業」など多岐にわたっています。また、大貞公園の除草や増田公園の清掃等の外作業にも取り組んでいます。前年度よりメンテナンス事業部と連携を図り、公園のトイレ清掃に取り組み始めました。

今年度は、トイレ清掃のスキルアップの一環として週に2回、園内のトイレ清掃に取り組んでいます。「トイレの匂いが軽減された」と大変好評を得ています。

外部からのお客様には「とても賑やかですね」と評されることの多い事業部ですが、しっかりと作業に取り組める時間も確実に増えてきており、利用者の皆さんも自身の役割を把握して日々頑張っています。外作業に行く機会も増えてきているので、事故等に気をつけて楽しく作業に取り組んでいきます！！



※その他事業部につきましても次回以降紹介させていただきます。

広報誌メンバーより ～年3回発刊予定～

NEW

<第1回 広報誌 編集長>

担当：塩谷 拓海

所属：如水B型事業所

趣味：ドライブで、美味しいランチとコーヒーを求めてのカフェ巡り

広報活動を通じて『明るく楽しい広報誌』を目指し頑張ります！

<第2回 広報誌 編集長>

担当：中野 いづみ

所属：本園室内B型事業部

趣味：旅行先での温泉めぐりと大好きな紫色の雑貨を集めること

広報活動を通じて利用者の日頃の活動や行事をお伝えしたいと思います♪

<第3回 広報誌 編集長>

担当：松本 絵美

所属：法人本部事務

趣味：最近は今年で6歳になる長女と一緒にレジンを使ってアクセサリーを作ることにハマっています

広報活動を通じて楽しいやま福祉会を発信できるように頑張ります！

よろしくおねがいします！